



2017年11月17日

ジェットスター・アジア航空

ジェットスター・アジア航空、沖縄(那覇)＝シンガポール線就航

ジェットスター・アジア航空(本社:シンガポール、CEO:バラタン・パスパティ、以下、ジェットスター・アジア)は本日、沖縄(那覇)＝シンガポール線 3K792 の運航を開始したことをお知らせいたします。

沖縄(那覇)発シンガポール行きの初便は、17日(金)午前9時5分に那覇国際空港を出発し、シンガポール国際空港には、同日午後1時10分(現地時間)に到着予定です。

ジェットスター・アジアはシンガポール唯一の航空会社として、沖縄(那覇)とシンガポールを結ぶ定期直行便を運航します。

ジェットスター・アジアの CEO バラタン・パスパティは、今回の就航にあたり次のように述べています。

「ジェットスター・アジアはこの13年間、低運賃と優れたサービスを提供し、多くのお客様のご支持をいただけてきました。本日の就航によって、日本からのお客様も那覇から、東南アジアのハブ空港であるチャンギ国際空港を利用して、シンガポールだけでなく他の東南アジア諸国へ手頃な運賃で行くことができるようになります。沖縄は美しいビーチと文化、歴史で知られる非常に魅力的な旅行先であり、予約状況を見ても、シンガポールにおける沖縄の人気は急速に高まっていることがわかります。また、当路線就航によって二国間の移動時間を短縮できることも人気の理由だと考えています」。

これまで、シンガポールから沖縄までの旅行は、乗り継ぎだけでも少なくとも4時間以上かかっていました。ジェットスターの当路線のフライト時間は5時間10分となり、旅行にかかる時間は従来と比べてほぼ半分になります。

沖縄県文化観光スポーツ部長の嘉手苺孝夫氏は、沖縄への就航を歓迎し、以下のように述べています。

「LCCが沖縄に就航してから数年が経ち、ジェットスターや他LCCが観光・旅行業や地域経済に与える好影響を見てきました。また、沖縄は現在、世界から訪れる観光客をお迎えする準備が以前にもまして整いました。リッツカールトン、マリオット、ヒルトンなどの国際ブランドホテルの数々が沖縄で開業し始めたことはその一例です。沖縄への旅行者は増加を続けており、2018年3月末までには265万人近くの訪日旅行者を予想しています。シンガポール人にとって、沖縄は人気の旅行先となると見込んでいます」。

当路線は、全便ジェットスター・アジアが保有するエアバス A320 型機(180席)で運航します。

那覇発のエコノミー Starter 運賃は、片道1万200円(注)からとなります。

沖縄(那覇)＝シンガポール線は週3往復の運航となり、本路線の就航をもってジェットスター・アジアでは、大阪を含め日本向けに週20便(往復)運航することになります。日本国内での乗り継ぎには、国内LCCで最大の路線を持つジェットスター・ジャパンをご利用いただけます。ジェットスター・ジャパンとジェットスター・



アジアの両社を合わせると、シンガポール、東京、名古屋、大阪より沖縄(那覇)へ週 11 便(往復)が運航することになります。

注: エコノミークラス「Starter」片道運賃。支払手数料、空港使用料等が別途必要です。燃油サーチャージ(燃油特別付加運賃)は不要です。受託手荷物の料金は含まれません。諸条件が適用されます。

■沖縄(那覇)＝シンガポール線 運航スケジュール

便名	路線	運航曜日	定刻(現地時間)
3K791	シンガポール - 沖縄(那覇)	月、金、日	01:50 発 08:00 着
3K792	沖縄(那覇) - シンガポール	月、金、日	08:55 発 13:15 着

【ジェットスター・アジア航空について】

2004 年 12 月に就航したジェットスター・アジアはアジア太平洋地域の 13 カ国 25 都市に就航し、週 600 以上の往復便を運航しています。同社は、2016 年と 2017 年に Institute of Service Excellence により顧客満足度でトップの LCC として評価され、2017 年には AirlineRatings.com より、世界で安全な LCC 上位 10 社に選ばれています。また、ジェットスター・アジアは、OAG による OTP(定時運航)調査ではアジア太平洋地域で 5 つ星の評価を得た唯一の航空会社でもあります。